

製品安全データシート

発行日：2016.01.01

1. 製品及び会社情報

製品名：モノタロウ アルカリボタン電池

モデル番号	1	2	3	4	5	6	7
分類 1	LR521	LR621	LR726	LR736	LR626	LR754	LR920
分類 2	LR63	LR60	LR59	LR41	LR66	LR48	LR69
分類 3	AG0	AG1	AG2	AG3	AG4	AG5	AG6
モデル番号	8	9	10	11	12	13	14
分類 1	LR927	LR1120	LR936	LR1130	LR721	LR1142	LR1154
分類 2	LR57	LR55	LR45	LR54	LR58	LR43	LR44
分類 3	AG7	AG8	AG9	AG10	AG11	AG12	AG13

公称電圧：1.5 V

化学系：亜鉛/二酸化マンガン

再充電機能：あり なし

会社名 株式会社 MonotaRO

所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町 2-183 リベル 3 階

担当者名 商品お問合せ窓口

電話番号 0120-443-509

FAX 番号 0120-289-888

緊急連絡先 所在地と同じ

整理番号 M160303

2. 組成、成分情報

化学的性質：アルカリ亜鉛・二酸化マンガン電池

成分	CAS 番号	およその重量百分率(wt%)
二酸化マンガン(MnO ₂)	1313-13-9	~22.2
亜鉛粉末(Zn)	7440-66-6	~8.8
水酸化カリウム	1310-58-3	~8.6
黒鉛	7782-425	~3.6
鉄	7439-89-6	~56.8
水銀	7439-97-6	<0.0005
鉛	7439-92-1	<0.01

カドミウム	7440-43-9	<0.002
-------	-----------	--------

3. 危険有害性の要約

一般的助言：化学物質取扱いの一般的な既知の規則に従うべきである。本化学物質は密封したスチール缶に入っている。消費者の使用のために十分な危険警告がパッケージに印刷されている。電池の液が漏れたり、高温に曝されたり、または機械的電氣的に誤用されないう限り、暴露される可能性はないはずである。含まれている濃縮水酸化ナトリウムと水酸化カリウムは腐食性である。電池を食べたり飲んだりしないこと。電池を幼児から遠ざけること。

物理的および化学的有害性：本調剤品は指令 99/45/EEC の基準に従った危険物に分類されていない。

人への有害性：電池の液漏れにより腐食成分に暴露されることがある。従って皮膚への付着は感作を引き起こすことがある。

環境への有害性：該当なし

p.2

4. 応急措置

吸入した場合：電池の液漏れにより過剰に吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移す。医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：電池の液漏れに曝された場合、汚染した衣服を脱ぐ。暴露された箇所を多量の水と石鹼で洗う。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。

眼に入った場合：電池の液が漏れ、物質が眼に入った場合、直ちに最低 15 分間流水で洗眼する。

飲み込んだ場合：電池のサイズ次第で予測できない。小型電池では窒息することがある。電池の液漏れに暴露された場合、口と周辺を最低 15 分間流水ですすぐこと。多量の水を飲ませる。無理に嘔吐させない。医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：二酸化炭素、泡、粉末消火薬剤

使ってはならない消火剤：決して直接水噴射を使用しない。

燃焼生成物への暴露の危険性：火災の場合、二酸化炭素、一酸化炭素、及び他の有害有機物が発生する。ヒュームと煙を吸い込まないこと。

人体保護具：完全な保護衣を着用する。自給式呼吸器を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：大量の漏出の場合、安全担当者に知らせる。電池の液漏れまたは

破裂から腐食性水酸化カリウムが発生することがある。目や皮膚への付着及び蒸気の吸入を避けること。換気をよくする。保護衣を着用する。保護衣を着用していない人を遠ざける。

環境に対する注意事項：下水道、河川、穴および地下室への放出と浸透を避ける。

清掃の方法：砂またはシリカなどの不活性標準吸収剤で漏れた物質を回収する。換気状態をよくする。適切な方法で物質をリサイクルするか処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

一般的な取扱い：化学物質の取扱いでは一般的な既知の規則と注意事項に従う。機械的電氣的誤用を避ける。電池をショートさせたり不適切に取付けたりしない。電池を解体したり、粉碎したり、再充電または高温に曝すと、爆発、熱分解または穴が開くことがある。電池は機器の指示に従って取付けること。アルカリ電池と亜鉛-炭素電池などの電池システムを混ぜない。機器の電池を全部同時に取り換えること。ポケットやバッグに電池をバラバラにして持ち運ばない。電池のラベルを剥がさない。

保管：製品はゆとりのある適切にコーティングした密閉容器に保管し、酸素/エア、光及び湿気を避ける。室温で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

暴露/技術的対策：十分換気して大気中の蒸気濃度を最低限にしなければならない。

手、目及び皮膚の保護：通常の場合のもとでは必要ない。液漏れ電池を取り扱う場合、ネオプレン、ゴムまたはニトリル手袋を使用し、安全眼鏡を着用して、手、目及び皮膚を保護すること。

一般的な安全及び衛生対策：指示された通りに使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态：上部がステンレススチールの電池。色：内容物は暗色で灰色

臭い：該当なし

融点：該当なし

沸点：該当なし

p.3

引火点：該当なし

爆発限界：入手不可

発火温度：入手不可

蒸気圧：入手不可

比重：該当なし

水に対する溶解性：該当なし

その他の溶媒に対する溶解性：該当なし

PH 値：入手不可

粘度：入手不可

10. 安定性及び反応性

熱分解：電池は火に曝されると爆発し、有害な分解生成物が発生することがある。

避けるべき物質：強酸化剤

危険有害な反応：内容物は強酸化剤と不適合。

危険有害な分解生成物：熱劣化により、亜鉛とマンガンの有害なヒューム、水素ガス、水酸化カリウムの腐食性蒸気、及び有害な副産物を生じることがある。

11. 有害性情報

有害性情報はセクション 2 に述べる電池の成分に関して入手できるが、一般的に無傷の電池には該当しない。

慢性的な健康への影響：該当なし

12. 環境影響情報

入手不可

13. 廃棄上の注意

製品：適切な規則に従って処理する。不確かな場合、地域の官庁に情報を問い合わせること。電池は過度温度で爆発するので焼却してはならない。

14. 輸送上の注意

陸上輸送(ADR/RID)：規制なし

航空輸送(ICAO/IATA)：

IATA DGR(57)：特別規定 A123：「それらのバッテリーの例として挙げれば、アルカリ・マンガン、亜鉛カーボン、ニッケル金属ハイドライト、ニッケル・カドミウム電池がある。

危険な程度の熱を発散する恐れのあるものは、下記を防止する手段が講じられていない限り、輸送してはならない。(a)ショートをしないようにすること。(例えば、バッテリーの場合には、露出した端末を効果的に絶縁すること)。(b)誤作動を防止すること。Not Restrictedの文言と、この特別規定番号が 8.2.6 に要求されているとおり、航空貨物運送状 (AWB) が使用されていれば、AWB の物品名の欄に記載されていなければならない」。

海上輸送(IMDG) :

IMDG CODE : 特別規定 304 は次のように記載している : 「腐食性電解質を内蔵する乾電池は、電池ケースが割れても電池から腐食性電解質が流れ出ない場合、このコードの条項の対象とならない。但し電池が確実にパックされ、短絡から保護されていることが条件である。そのような電池の例は : アルカリ-マンガン、亜鉛-炭素、ニッケル水素、及びニッケル-カドミウム電池である」。

これらの電池は、出荷時に危険有害物質または危険品として国際機関は規制していない。「アルカリ電池-無害」の出荷名称は国内及び国際のすべての船荷証券に用いることができる。

p.4

一般的に、すべての輸送形態（陸上、航空、海上）で電池は、安全且つ責任ある方法で包装されなければならない。安全包装に関するすべての機関の規制事項は、電池を短絡から防ぎ、内容物の漏出を防ぐ「堅固な外部包装」に入れるよう要求している。Pairdeer のアルカリ電池の自社包装はすべて、これらの規制事項に適合するように設計されている。

15. 適用法令

シンボル : 該当なし

EC ラベリング : なし

リスクフレーズ : なし

安全フレーズ : なし

ラベリングは必要ない。アルカリ電池は「危険な調剤指令」に基づいて「成形品」に分類されており、従ってこの指令の要件から除外されている。

16. その他の情報

本製品安全データシート情報は現在の信頼できる情報源から入手したものです。しかし本データは、その正確さと精密さに関して明示的暗示的を問わず一切保証なしに提供されます。本製品の不適切な使用から生じる損失、傷害、損傷または費用に対する責任はユーザが負うべきです。本製品に関する以前の MSDS は、この新しい文書に置き換えられています。貴社の組織および本製品を取り扱うために貴社が手配する他社に対して、本情報を適切に利用するようお勧めします。